

【危機管理課におけるタウンミーティングの開催結果について】

『地域による避難所運営』について、多くの住民の皆様のご理解・ご協力を得るため、タウンミーティングを下記のとおり開催し、意見交換を行いました。その結果について報告します。

開催場所	開催日	時間	参加人数
足近コミュニティセンター	11月5日(火)	午後7時 ～ 午後9時	14人
小熊コミュニティセンター	11月7日(木)		21人
正木コミュニティセンター	11月11日(月)		38人
竹鼻コミュニティセンター	11月12日(火)		28人
竹鼻南コミュニティセンター	11月14日(木)		11人
福寿コミュニティセンター	11月18日(月)		26人
江吉良コミュニティセンター	11月19日(火)		22人
資源物ストックヤード(堀津)	11月21日(木)		30人
上中コミュニティセンター	11月25日(月)		18人
下中コミュニティセンター	11月26日(火)		22人
桑原コミュニティセンター	11月28日(木)		23人
不二羽島文化センター	11月30日(土)	午前10時 ～正午	20人
合計			273人

【地域による避難所運営について】

質問	回答
災害時には、市の職員が物資の調達を行うことになると思うが、避難所において物資が不足したときには、誰が市の職員に連絡をとればよいのか。	長期的な避難所運営は、地域が主体となり行うこととなりますが、各地区のリーダーを中心に、避難所運営組織を設置し、災害対策本部と連絡をすることとなります。地域住民で役割分担を行いながら、対応することが大切です。

【自主防災組織について】

質問	回答
各地区の自主防災組織の編成は、羽島市ではどのような手段で把握しているのか。	毎年、自主防災組織が策定される自主防災組織活動計画や組織体制、一時避難場所などを市へ報告していただいています。

【災害物資の備蓄状況について】

質 問	回 答
<p>市で備蓄している備蓄品は、指定避難所の収容可能人数に沿った数を備蓄しているのか。また、地域によって備蓄数の偏りはないか。</p>	<p>地域によって偏りがないように備蓄を行っています。また、備蓄計画を策定し計画的な備蓄を行っています。しかし、羽島市民全員の食糧を賄えるほどの備蓄は行うことができません。住民の皆様には、日頃から備蓄を行うなど、いわゆる自助を行っていただき、災害に備えていただきたいと考えています。</p>
<p>災害が起きたとき、水や食糧はどうするのか。</p>	<p>市が備蓄する水や食糧のほか、災害協定を締結する、協定市町や企業へ生活物資などを要請する計画です。</p>

【停電や断水等の対策について】

質 問	回 答
<p>停電や断水などが重なることが予想されるが、どのように対応を行うのか。</p>	<p>市では、災害時の停電対策として、防災備蓄倉庫に発電機を配備しています。また、水や燃料を確保するための協定を市町や企業と締結しています。災害時には協定先と連絡を取り合い、対応する計画です。直近では、台風で被災した協定市町等へ被害状況の確認や給水車、物資など支援要請に関する連絡を行いました。普段から協定先との顔の見える関係を構築していくことが重要と考えています。</p>

※今回のタウンミーティングにおいて、市民の皆様いただいた貴重なご意見を今後の行財政運営の参考にさせていただきますので、よろしくお願ひします。